

ふる
と
の



町花：山百合

議会だより

3月定例会

No.115

平成23年4月20日

平成23年度当初予算を可決	2
新規事業 米の消費拡大に製粉機導入など	4
一般質問 廃校・跡地利用など8議員が12問	8
地域活性化に向けた補正 第1回臨時会	16



期待を胸に 新生古殿小学校の新1年生

原発事故

中での集中審議 6,488万円の予算を可決

このたびの東日本大震災により、お亡くなりになられた皆様には深く哀悼の意を表しますとともに、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。また、被害を受けられた皆様に心からお見舞いを申し上げます。

木質バイオマス・米粉製粉機

地域資源を活かし

まちの活性化を！

3月定例会は3月10日から17日までの8日間の会期で開催しましたが、3月11日に発生した東日本大震災、そして福島第1原子力発電所事故等から、審議時間を延長した中で日程を繰上げ、15日に閉会しました。

町長から提出された案件は、平成23年度当初予算を中心に、条例改正、補正予算など24件で慎重に審議した結果、すべての議案を原案のとおり可決しました。

請願3件は採択、議員発議として非核・平和のまち宣言に関する決議案等4件の提案があり可決しました。一般質問には8人の議員が12項目について町の考えを質しました。(8ページから15ページに掲載)

放射性物質汚染に対する緊急要請

地震災害に対する県町村議会の要望は3月15日付で全国町村議会議長会長あて提出されましたが、その後に原乳、葉物野菜の放射性物質汚染による出荷停止等の指示があったことから、石川地方町村議会議長会長として3月24日付で下記の事項を記した要望書を福島県町村議会議長会長あて提出し、県議会での採択と国等への働きかけを強めるよう要請しました。

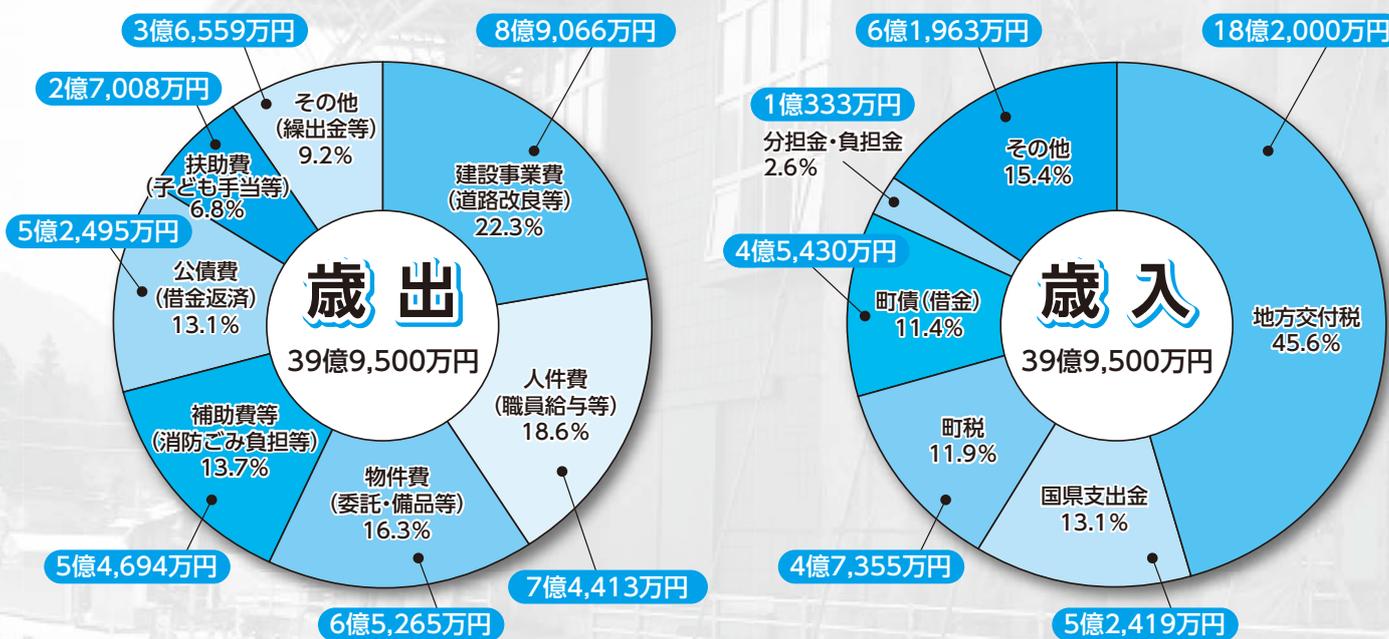
- 1、農畜産物の監視体制の強化とともに風評被害の徹底防止
- 2、出荷規制農畜産物並びに出荷自主規制農産物に対する適切な補償
- 3、保証額確定までの融資制度の創設並びに利息分の補填
- 4、制度資金等借入金返済の猶予
- 5、農業復興に向けた具体的な支援策の早期策定と全面的な支援

東日本大震災・福島第1

緊迫した状況の

総額54億

23年度一般会計予算



23年度各会計の予算額と採決の状況

(金額は1万円以上を表示)

会計名	予算額	前年度比	採決の状況	
一般会計	39億9,500万円	12.9%	賛成11、反対1で可決	
特別会計	国民健康保険	6億5,641万円	△9.5%	賛成10、反対2で可決
	簡易水道	1億171万円	18.0%	全員賛成で可決
	農業集落排水事業	7,145万円	△2.0%	//
	林業集落排水事業	2,519万円	9.0%	//
	介護保険	5億6,011万円	3.0%	//
	後期高齢者医療	5,501万円	△1.8%	//

※質疑は4ページに掲載しました。



災害支援として町へ義援金を送る (町議会)

新年度予算の
特徴は

前年度予算より
4億5千万円の増額

平成23年度一般会計当
初予算は39億9500万
円で、前年度と比べると
12・9%増額となりました。

歳入では税収、負担金
などが減となり、国県支
出金が増となります。

歳出では、子ども手当
子宮頸がん等助成、町民
プールバイオマスボイラ
ー設置、米粉普及推進事
業や緊急雇用創出、幼保
一体化施設整備、道路網
の環境整備、千年の森育
成と町産材利用住宅建築
支援事業等と森林を核と
した産業の振興に積極的
に予算が計上されています。

主 な 新 規 事 業

米粉普及推進事業

米の消費拡大と、米粉の利用促進
のために製粉機を導入。

780万円



がけ地対策工事

町民プールバイオマス
ボイラー設置事業

町民プールに環境にやさしい新エ
ネルギーバイオマスボイラーを設
置。

1億5000万円

古殿小学校校庭芝生化事業

校庭をクッション性のある芝生に
することにより、けがの防止、体
力向上、情操教育の向上を図る。

250万円



芝生化（県北の小学校）

3ワクチン接種助成事業

（子宮頸がん・インフルエンザ菌b型・
肺炎球菌）

子宮頸がん、ヒブ、小児肺炎球菌
の予防接種で全額を助
成。

619万円



保育所園児

既成宅地防災工事助成事業

宅地化促進、家を建て替える際の
がけ地対策工事費等を助成。

600万円

幼保一体化施設整備事業

子育て支援の充実と、安心・安全
のために幼保一体施設を整備する
ための調査・実施設計委託料。

5200万円

議案
審議

一 般 会 計

（質疑の一部を掲載）

Q 広告料が1900万円
と増えているが、その
要因は何か。

A 23年度開校の古殿小学
校に係る新聞を中心と
した広告を見込んだ予算です。

Q チェンソーアート文化
祭事業委託料の内容は、
祭事業委託料の内容は、

A 国際森林年であること
から、今までよりも規
模を拡大し、県サポート事業
の支援を受け県外にも呼び掛
けて実施します。

Q 児童福祉費の賃金は、
新年度から始まる放課
後児童クラブの指導員の賃金
と思うが何人分か。

A 4人分の予算です。

Q 林地残材搬出利用促進
事業は、当初の計画通
り利用が促進されているか。

A 緊急雇用対策で県の森
林環境税を活用し林業
事業体に委託して行っており
計画通りです。

Q 農業分野緊急雇用事業
委託の内容は。

A 農業法人に委託して2
人を雇用し、担い手育
成と農作業受託、竹パウダー
加工等を行うものです。

Q 竹パウダー用備品16
0万円と米粉生産用備
品780万円の内容と設置場
所は。

A 竹パウダーは酸化を防
ぐために10kg真空パッ
クの袋詰め機械の購入で松川
字前木地内に設置し、米粉は
消費拡大等を目的におふくろ
の駅に設置し有料で利用して
もらう考えです。

Q 株おふくろの駅出資金
は増資なのか。

A 委託料で運営されてき
たが、株式化により今
後の運営資金として800万
円を出資するものです。

Q 町有林等間伐委託料8
00万円は、どの間
伐なのか。

A 山上字中ノ内、戸草地
内の町有林の間伐を行
うための委託料です。

Q 千年の森育成補助3266万円は前年度に比べ700万円増額となったが、ほぼ目標に近づいたのか。

A この事業は、国庫補助への上乗せと、補助が付かない間伐・搬出・路網整備に対して助成するもので、更に推進するため増額の予算となりました。



間伐材

Q 道路改良費の委託料の内容は。

A 道路改良工事関係と橋りょう新築工事関係の2つに分け予算要求しています。道路改良は、町道竹貫田いわき線・田中田湯ノ口線等の委託です。橋りょう工事については馬場橋と大原小学校橋の基本調査費です。

Q 学校給食調理業務は、8467万円で鮫川村に委託するが、その鮫川村給食センターが昨年は全国のコソールで上位入賞を獲得したが、町ではその点がふれられていない、委託に対する意識は。

A 全て任せているのではなく、それぞれに給食協議会があり、お互いに協議をしながら運営しています。

Q 小学校費に非常勤講師賃金がありますが、小学校1校に統合される中で、どういう形で配置が行われるのか。

A 特別支援教室関係の支援と、1年から6年までのクラス支援の形で2人が対応します。

Q 小学校費の遠距離通学援助費508万円の内容は。

A 小学校児童の通学に係る路線バス定期券の購入費です。

Q 中学校費の備品購入527万円は、新学習指導要領に基づく武道関係の教材備品か、また武道は何の種目を選択したのか。

A 武道関係用具と理科関係のものを含んだものですが、種目は柔道と剣道を予定しています。

Q 社会教育活動委託料が増額されているが、小学校の廃校に伴う、活動促進としての各地区5万円がここに含まれているのか。

A 質問のとおり50万円増額しています。

Q 予算審議の中でいくつかの問題点が指摘された。現在危急存亡の大きな危機に直面しており、今後は国県からの助成等も変更が予測されるので、重点事業をよく選別し、必要なものから着手し十分検討した中で進めてほしい。答弁はいりませんか。



老人クラブ活動

23年度一般会計

町民一人当たりの金額



666,950円

予備費 2,537円

一般、広報、財政、財産、税、戸籍、選挙等の費用

総務費
115,284円

社会福祉（生活、障がい、高齢）、児童福祉等費用

民生費
135,588円

義務教育、社会教育、保健体育等の費用

教育費
107,091円

農業委員会、農業（農業・畜産・農地）林業の費用

農林水産業費
70,879円

借入金（元金・利子）の返還に係る費用

公債費
87,638円

衛生費
43,888円

保健予防・検診やごみ、し尿等の環境衛生の費用

土木費
39,027円

道路橋りょうや河川、住宅等の維持管理費等

消防費
29,130円

消防設備や消防団、広域消防組合の費用

議会費
16,550円

議会運営に係る全ての費用

商工労働費
19,338円

商工業と観光及び労働に関する費用

*人口は5,990人として算定

討論

反対 岡部淳一議員

今置かれている自営業者の仕事の問題を考える時に町としてもっと幅広い形での事業の展開にもう一步踏み込むべきと考える。学童保育では長期休業中の展開については近隣町村どこでも行っている現状で再考すべきと思う。廃校利用・跡地利用では多くの問題点があり検討すべきであり反対します。

賛成 鈴木昭生議員

町政執行上必要な予算であることから賛成します。

採決

賛成起立者多数（賛成12反対1）により、可決決定する。

国民健康保険

質疑

Q 今年度の保険税は、引き上げになるのか。

A 予算の中では、被保険者1人当たり1万円の値上げを見込んでいます。

Q 全国的に引き下げが叫ば

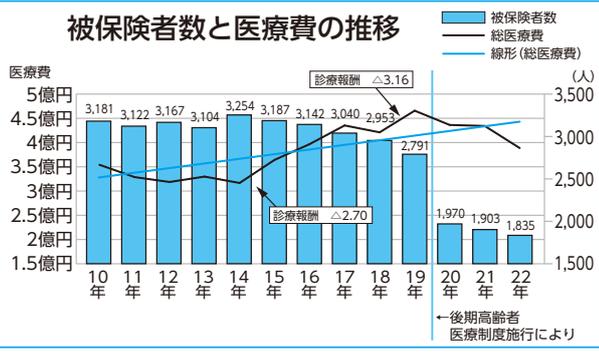
れる中であり、基金の取り崩しは考えているのか。

A 基金の取り崩しは難しい状況であるが、国保税の本算定の中で検討します。

討論

反対 岡部淳一議員

現在の国保税の推移をもっとしても払えない状況にあるという町民も多数います。この状況の中で、1人1万円の引き上げは、大変な負担が増えるということであり、町民の生活を守るためにも反対します。



賛成 鈴木昭生議員

現在の社会情勢の中で国民健康保険を運営していくためには、止むを得ないことであると思います。財源の確保と医療費の適正支出をお願いし賛成します。

採決

賛成起立者多数（賛成11反対2）により、可決決定する。



地震で被害を受けた若神子排水処理施設

林業集落排水

質疑

Q 今回の地震で若神子が被害を受けましたが、概算での被害額がわかれば。

A 応急的な措置は講じていきますが、国の災害復旧支援

事業がまとまった中で補正予算を組むことになると思いますが。

Q 今回の箇所も仙石の集落

排水の地盤の問題と関連していると思う。その辺を踏まえ設定場所等については慎重に願います。

非核・平和のまち宣言を決議

最低賃金など3つの意見書を国へ提出

非核・平和のまち宣言

我が国は世界で唯一の被爆国であり、広島、長崎の悲劇は二度と繰り返してはなりません。世界の恒久平和は、人類共通の願いであり、我々はこの理想実現のため努力していかねばならない。

古殿町議会は、日本国憲法の精神と国是である非核三原

◎福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の請願

「提出者 福島県連合会会石川地区連合会 議長 橋本 亀」

審議の結果

採択 (意見書提出先) 内閣総理大臣ほか

◎公契約に関する基本法の制定を求める意見書提出の請願

「提出者 福島県連合会会石川地区連合会 議長 橋本 亀」

審議の結果

採択 (意見書提出先) 内閣総理大臣ほか

◎大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求める請願

「福島県医療労働組合連合会執行委員長 斎藤富春」

審議の結果

採択 (意見書提出先) 内閣総理大臣ほか

各会計予算の補正状況

(全額は1万円以上を表示)

会計区分		今回補正した金額	補正後の予算総額
一般会計		△2,839万円	40億3,024万円
特別会計	国民健康保険	△3,242万円	6億6,552万円
	簡易水道	△11万円	8,789万円
	農業集落排水	△138万円	7,481万円
	林業集落排水	△75万円	2,321万円
	介護保険	△1,715万円	5億4,840万円

※各会計とも全会一致で可決決定される。

集会所等の管理者を指定(5年間)

町の施設に係る条例に基づき指定

町内にある、集会所等34施設の指定の期間が、3月で満了となるので、新たに5年間の指定を行う。

管理者は、法人又は公共団体若しくは公共的団体等。(平成23年4月1日から平成28年3月31日まで)

奨学資金の貸付単価を増額

奨学資金貸付基金条例の改正

公立と私立の区分を一本化した。



論田区が管理している「論田ふれあいセンター」

奨学資金の貸付単価を平均4割程度引き上げ、国立と私立の区分を一本化した。

奨学資金の貸付単価を増額

奨学資金貸付基金条例の改正

高校(一律)	月額2万円
専門学校	月額3万円
大学(一律)	月額4万円

今回の地震で、特に被害の大きかった町民第1体育館、滝ノ平集会所付近の土砂崩れを中心に現状を調査した。



地震により壊れた屋根瓦を一時集積



松川 三株団地の土砂崩れ現場

- 町の被害概要**
- ・人的被害 なし
 - ・自主避難 13人
 - ・住宅被災 443件
 - ・公共施設被害
 - ①道路 42箇所 (地割れ等)
 - ②上下水道 3施設
 - ③建物 16施設 (ガラス割れ等)
 - ・被災ゴミの取扱 (ガラス割れ等)
 - ・屋根瓦の処理(ストック)

常任委員会

3月14日

委員会活動は当初の予定を取り止め、3月11日に発生した東日本大震災の被害状況を、総務、産業建設合同で調査しました。

町民の声を伝える

町政に生かす

町の考えをたずねる

一般質問

一般質問は、3月15日に8人の議員が12問の質問を行いました。質疑応答の一部を要約してお伝えします。

第3点 将来を見据え、いかなる事態にも対応できる弾力的な契約とすべきであるが。

第2点 クリニック側の対応及び返答内容の詳細については。

第1点 町側は誓約書を含めてどんな要求をしたのか。

過般の全員協議会で、ふるどのクリニックとの町所有物件の賃貸借契約の経過報告をなされましたが、その後の交渉の詳細な経過説明を願います。

診療所の契約内容は

Q 町が診療所と取り交わした協定書の中で、協定内容等で疑義が発生した場合、必要に応じ甲乙協議のうえ定めるとなっており、その項目を引用し質問します。



こんない 近内 こうえい 光英 議員



公設民営の医療機関「ふるどのクリニック」

無償契約から今後は有償契約で

町長

A **1点目** 前回、4年前の確認事項に基づき有償契約としたい旨の申し入れをしました。

2点目 現行の診療所開設に関する協定書に基づき、無償が前提とのことでありましたが、協議の中で、有償契約とする合意を得ています。



福祉バスでお年寄りが通院

3点目 今回の協議・更新に伴い、有償契約となりますが、町民の健康管理を担う診療施設でありますので、法規に基づき双方、有意義な契約を結びたいと考えます。

木質バイオマスエネルギーで循環型社会の形成を



さとう ひろのぶ
佐藤 弘信 議員

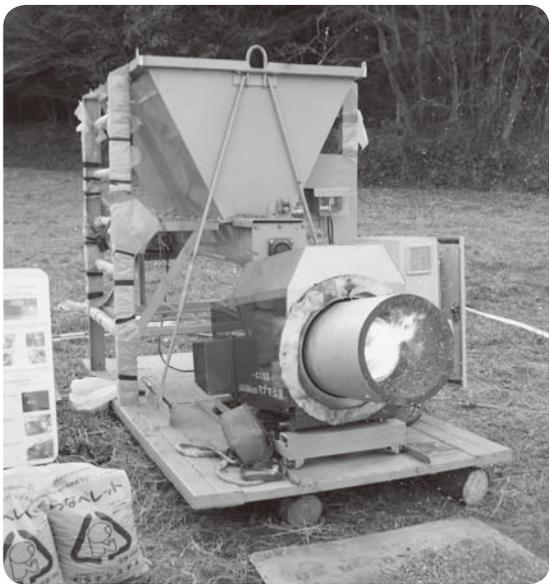
Q 木質バイオマスエネルギー熱利用を重点テーマに、新エネルギービジョンが策定され、町民プールに木質バイオマスボイラーが導入されます。森林の整備・育成から利用と、町の施策の大きな柱となっており、継続性を持って取り組んでいくべきと考えます。町にとって有益な事業を展開し地球規模の温暖化対策、町の森林資源を生かした循環型社会の形成に寄与することを、期待したいと思えます。

反面、課題等も提示されておられ、木質バイオマスボイラーの導入にあたっての考え方、今後の展望を伺います。



移動式破砕機によるチップ生産

- 第1点** 木質バイオマスボイラーの導入にあたっての基本的な考え方は。
- 第2点** 町民プールに木質バイオマスボイラーが1億5000万円計上されているが、その内訳は概算でどのようなになっているか。
- 第3点** 導入コストはペレットボイラーが安いがランニングコストはチップボイラーが安いといわれるが、機種選定にあ



チップを熱源としたボイラー

- つての検討内容は何か。
- 第4点** 将来コストに熱源を供給する計画でボイラーの規格を選定しているのか。
- 第5点** ボイラーの導入業者の選定は、どのような方法をとるのか。
- 第6点** 温室効果ガスの排出量削減のための取り組みで、国内クレジット制度あるいは、カーボンオフセット制度を利用し認証を受けるのか。
- 第7点** 将来的には、木質バイオマスエネルギー利用をどのように展開するのか。

林業の活性化を図っていく

町長

- A 1点目** 地球温暖化防止対策の貢献、林業の活性化、森林の育成、雇用の確保に努めます。
- 2点目** ボイラーの本体は4千200万円、機械室・サイロ工事で3000万円、配管工事で1100万円、その他です。
- 3点目** 樹皮も燃料に利用できることから、チップボイラーを選定した。
- 4点目** 将来は、コストモス庄への熱源を供給する計画です。
- 5点目** 企画提案書を出
- 6点目** 町民プールを木質バイオマスボイラーにすることで、150tの二酸化炭素の削減になりますが、経費を踏まえると、取り組み難しい面もあるが、総体的に検討していきます。
- 7点目** 木質燃料ボイラーを導入することにより森林資源の積極的活用を図り、当面は町外業者から木質燃料を購入する予定ですが、将来的には町内生産を目指すことで、雇用の確保、林業の活性化を図ります。

*国内クレジット制度

大企業等による、技術・資金等の支援を受け、温室効果ガスの削減認定を受ける。

*カーボンオフセット

市民・企業・自治体・政府等が、温室効果ガスを削減し、削減困難な場合、他の場所での削減・吸収量を購入する仕組み。



おかべ まさいち 議員
岡部 政一

跡地利用、地域住民に説明を

- Q** 閉校跡地の利活用について、地域住民に何の説明もなく、2月23日の福島民報に掲載された跡地利用の方針は大きな反響を呼びました。
- 第1点** 跡地利用検討部の会の答申では説明を十分に図りたいとあるが反映されていないのか。
- 第2点** 大原跡地はなぜ貯木場での利活用なのか。
- 第3点** 大原小学校橋の架け替えは最良策なのか。
- 第4点** グランドゴルフ場や緊急災害避難場所の確保等の要望はどのように考えているのか。

説明会を実施する

町長

- A** **1点目** 区総会等で説明をします。
- 2点目** 林業関連施設の適地と考えています。
- 3点目** 架け替えが最良と考え、調査費を計上し総事業費2億円は架け替
- 4点目** 検討はされませんでした。
- えが可能とされた場合の予定事業費です。



林業関連施設として計画されている旧大原小学校

介護施設を増やせないか

- Q** わが町の高齢化率は30%です。その内の半分が後期高齢者で占めています。団塊の世代が65歳以上になると、かつて経験したことのない「超高齢化社会」が到来します。そのためにもより良い充実した介護サービス環境を整える必要があります。
- 第1点** 介護制度の利用の周知、啓蒙の徹底はしているのか。
- 第2点** 地域密着型介護サービスはどうか。
- 第3点** 地域密着サービスを提供すればどの位の基準額になるのか。
- 第4点** 住み慣れた地域で暮らし続けられるサービス提供を考えているのか。

施設の増床計画を進める

町長

- A** **1点目** パンフレットを作成し、全世帯に配布し周知を図っています。
- 2点目** 隣接町村にあり、利用することができません。
- 3点目** 月、千円相当額上がるものと思われれます。
- 4点目** 石川福祉会と協議して、施設の増床計画を進めています。

テレビの難視聴地域の対策は

- Q** テレビ放送が7月2日から、地上デジタル放送化されます。難視聴世帯が90件あると報道されたがその後、どのような状況なのか。
- 第1点** 現在、難視聴地域は何箇所あるのか。
- 第2点** 難視聴地域にどのような対策をしているのか、今後どうなるのか。
- 第3点** 難視聴対策に町の補助はいくらになるのか、今後も続けるのか。

平成27年まで補助・支援

町長

- A** **1点目** 現在、難視聴地域は26地区166世帯、放送開始に間に合わない地域、18地区90世帯が暫定衛星放送になります。
- 2点目** デジサポが窓口
- 3点目** 町単独補助金、22・23年度分として、269.8万円。平成27年3月までは、同様の支援をします。
- で対応しますが町として出来得る支援はします。



適切な介護サービスを「ケアプランの作成」(コスモス荘)

竹パウダーがからで、 町特産品開発を



さ が わ ゆ う じ
佐川 勇司 議員

Q 竹林の環境整備事業は森林環境の整備、農耕地の保全、雇用の創出等期待できる事業と認識します。また、その廃材資源で竹パウダーも製造され、農作物等利用に大きな効果が期待できると聞きます。竹の中に存在する乳酸菌やミネラルの力でさまざまな効果が期待でき土壌改良、食品加工効果、体臭抑制、肌改善入浴剤等、有効利用が期待されます。そういった力を持った竹パウダーの町民普及に向けた取り組みが、自然を生かした産

- 業づくりと思います。そこで、次の点を伺います。
- 第1点** 竹パウダーの力に対して、どのような見解か。
- 第2点** 竹パウダーの力講座等の普及促進に向けた取り組みはどうか。
- 第3点** 竹パウダーの循環利用で、育てたタケノコ加工の町産品づくりはどうか。
- 第4点** 米粉と竹パウダー成分配合の特産品、うどんや食パンづくり開発と学校給食利用はどうか。



伐採した竹材の粉砕作業

調査研究していく

町長

- A**
- 1点目** 竹肥料農法によりますと、リン酸とデンプンを含み、健全な根を伸ばし、有機栄養微生物を繁殖させ、甘み・旨みが増し土壌病害が抑制される効果があると、認識します。
 - 2点目** 栽培技術指導講師を招き、講習会を開催

- する予定です。また、普及促進については、随時行って行きます。
- 3点目** タケノコ水煮等加工販売にも取り組む予定です。竹パウダーの利用も調査研究してまいります。
- 4点目** 魅力的特産品開発ですが、竹成分の取り出し等、調査研究し、専門者に相談します。



色々な活用が検討されている「竹パウダー」



せきね すみお 議員
関根 角男

スクールバス等の安全対策は

Q 町内小学校は、学校を中心に地域の伝統文化を継承しつつ、親睦を深める場として身近なものだった。時代の流れにより1校に統合されて閉校となり、廃校という現実を目前にすると、期待と不安になりましたと多くの保護者から様々な意見

が寄せられています。特に多いのは、安全対策であり次の点について伺います。

第1点 通学バスの安全対策について。

第2点 道路を横断するための対策について。

第3点 スクールバスの座席確保について。

体験通学をして安全の点検を

教育長

A **1・2点目** 関連

があるので併せて答弁します。指摘のとおり児童の通学につきましては、保護者も心配しているこ

とから、去る2月23日には、平成23年度入学児童を含めた全児童を対象に体験通学を実施しました。

その結果、注意する点



全児童を対象に体験通学を実施（2月23日）

指導を要する点などについて整理し安全点検を行っているところですが、4月からの交通安全街頭指導につきましても交通安全協会、交通安全母の会、防犯推進協議会

等、各種団体の協力により、万全な態勢で取り組むよう準備を進めているところですが、学校においては、児童に対し、通学中の道路横断時の注意点を含めた交通指導にあた



何よりも児童の安全 “地域全体で見守りを”

っています。さらに、安全対策について必要な点については、関係機関と協議し改善に努めているところですが、

3点目 スクールバスの座席の確保については、6コースの運行となりますが、各コース利用児童の人数に合わせた座席が確保できるバスで運行し

ます。

学校跡地と廃校利用の基本は



おかべ じゅんいち
岡部 淳一 議員

- Q 23年度主要事業は過去4年間で一番多い予算、前年度比で3億9600万円増になる旨が説明されました。今、町民の声は、「人口減による町の将来、現役世代の雇用と失業問題、就職できない子供たち、あとを継がない自営業者の跡継ぎ、農業では食っていけない後継者」日本全体の問題にして古殿町の問題と指摘しています。そこで23年度施策をより町民生活に根ざしたものにすため次の点について質問します。
- 第1点 日本再発見塾の取り組み、何を学び、何を再発見して今後に生かそうと考えているのか。
 - 第2点 自殺対策事業の具体的内容は。
 - 第3点 町産材利用支援事業の拡充に、なぜ関連業者支援は考えなかったのか。
 - 第4点 大原小、橋掛け替えによる事業実施の方向性とは何か。
 - 第5点 既成宅地防災工事助成の本質的意味合いは。
 - 第6点 幼保一体化事業は、どんな形態の一体化を目指すのか。
 - 第7点 学校跡地、廃校利用は基本的に委員会の答申を基にしたものなのか。



架け替えが計画されている「町道大原小学校線・橋りょう」

検討委員会の報告内容を尊重

町長

- A 1点目 (答弁はありましたが、大震災により中止となりました。)
- 2点目 講演会、パンフレット配布、相談室改修工事を計画している。
 - 3点目 支援事業においての施工業者は、地元業者施工を規定しているの間接的に支援につながっている。
 - 4点目 岡部政一議員に答弁したとおりです。
 - 5点目 安全・安心の確保、住宅の建て替えに伴う費用負担軽減、町内定住促進を目的としての助成制度の創設です。
 - 6点目 複合型施設として、幼稚園と保育園を併設する形と認定こども園

として開設する方向があります。

7点目 施策の展開と計画は、行政需要に適合し

公共施設に難聴者対策の磁気システムを

た内容が求められるが、現段階では報告内容を尊重したいと考えています。

- Q 現在、国民の十人に一人が難聴だと言われています。難聴になるとコミュニケーションがうまくいかず、社会や家族から孤立したり認知症や寝たきり、介護状態になり易いと言われています。
- そこでやさしい町づくりの観点から、公共施設においての対策が求められています。次の点について伺います。
- 第1点 現在まで進めてきた難聴者対策は。一人が難聴だと知られていない人が多いため、各施設対応で、難聴問題はあったか。
 - 第2点 磁気ループシステムがクロースアップされているが、認識はあるか。
 - 第3点 公共施設への磁気システムの導入、導入に伴う補助器購入補助について考えるべきと思うが見解は。

導入は考えていない

町長

- A 1点目 補聴器等給付事業で実施しています。
- 2点目 現在のところ、そのような話は聞いていません。
 - 3点目 そうしたシステムが開発されていることは承知しています。
 - 4点目 現時点では考えていません。



たかぎ せつお 議員
高木 節男

昔の製品の活用を考えると

Q 12月議会では、先人が残した歴史的町民共通財産の保存継承について伺いました。今回は、生活の糧とし、自然と地理的、地形的条件から、先人が営んできた歴史的産業をどの様に活かすのかの点について伺います。

第1点 わが町は、地形的条件から、米、麦、雑穀等の生産は自給程度のもので、松川田福寺の僧が、自家用煙草を作ったのが始めとされる松川葉水戸藩の特産のこんにゃくの栽培、白河藩の推進した馬の生産などが収入源の大きな産業でした。馬産地の適地として、昭和20年当時は、12の放牧地と16の採草地、とくに三株山一帯は、幕政時代から放牧地として利用されてきました。馬の産地として適した地形的条件と、恵まれた自然を活かした産業の計画など検討されているのか。

第2点 昭和20年代には、緬羊王国だったこともあり、歴史的産業として、活用する計画など検討されているのか。



希望が少なく進まない羊放牧支援事業

第3点 時代の変化と共に遊休農地が進む中で、解消活用対策の成果と今

後の対応策などはあるのか。

対策事業は積極的な

町民参加型で 町長

A **1点目** 昔は、役畜を飼養するため、採草地がありましたが、機械化により採草地の必要もなくなると認識しています。牛、羊の放牧支援事業なども行っていますが、なかなか取り組んで

いただけない状況です。

2点目 緬羊の衰退については、衣類も化学繊維に押され羊毛の活用が減り、時代の変換と捉えています。牛、羊の放牧支援事業なども行っていますが、なかなか取り組んで

いることから、産業として復活することは、難しいかと思っています。

3点目 こんにゃく生産が激減された時期から利用されない農地が増え、農産物価格の低迷が続く中、農業の担い手が減少しているのが、一つの要因と捉えています。

活用対策については、梅、柿、たらの芽、ふきのとうの生産、牛、羊の放牧などの事業は進めています。

おり、系統出荷や直売所で販売されており、多少なりとも成果はあるものと思っています。この対策については今後も進めて行く事としていますので、農業者の方々もこの事業に積極的に取り組んでいただき、農地の有効活用が図れればと思っています。



立地条件にあった適地適作の推進を

主要事業のねらいは

Q 平成23年

度の主要事業の実施について、事業目的費用対効果、目指すべき将来像などについて伺います。

第1点 越代のサクラ周辺の整備事業における土地購入の必要性と、

今後の整備のあり方、観光資源の位置付けは。

第2点 町で購入した馬に、現在までの投資額、飼育管理委託費の根拠、保存会との関わり、事業継続の考え方について。



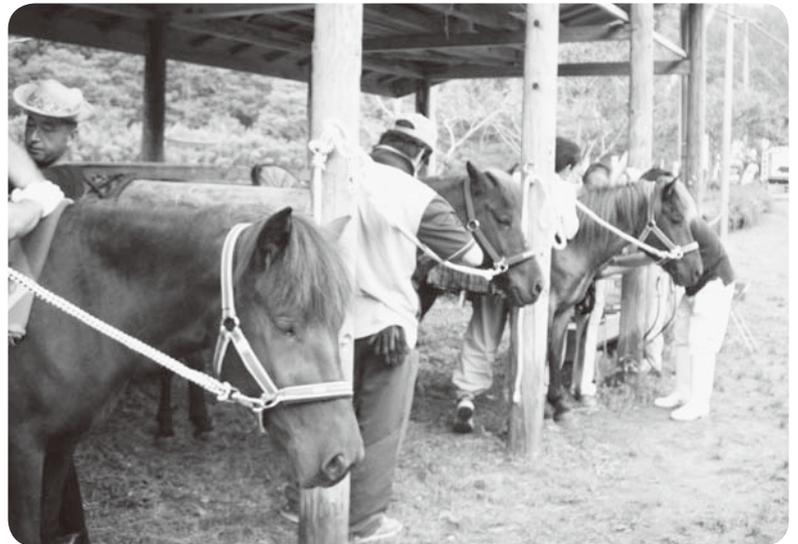
県内1本桜番付で上位にランクされた「越代のサクラ」

第3点 スクールバス運行事業が説明書に記載されなかった理由は。

第4点 跡地利用方針決定の経過と、住民への説明はどのようなようになされたのか。



さとう かずお 議員
佐藤 一夫



流鏝馬継承のため導入された3頭の馬

伝統継承と地域活性化を目指す

町長

A 1点目 福島県内

一本桜番付表で3番目にランクされたことから、今以上の来場が予想され駐車場確保のため、930㎡の土地を購入する考えです。

2点目 馬の購入費180万円、厩舎造成建設1

080万円、管理費65

1万円、蹄鉄交換、保険料等109万円、施設整備で278万円、合計2408万円です。一頭当りの飼育管理費用は7万円、今後は飼育管理費

が主な経費であり、流鏝馬保存会に年間350万

円を支出し管理していくこととなります。伝統文化継承のため、持続的な維持が必要と思います。
3点目 複数年契約の債務負担であり、継続事業です。説明書記載の有無は、意図したものではありません。

4点目 解体事業等の予算計上は、小学校統合委員会から、跡地利用検討結果を受け、職員で構成する、まちづくり推進委員会および、担当課長会議で協議決定しました。対象行政区の説明については、岡部政一議員に答弁したとおりです。



有効活用が望まれる廃校跡地「旧論田小学校」

第1回 臨時議会

23. 1. 21

国の緊急総合経済対策に伴う

1億2415万円を補正

平成23年第1回臨時議会は、1月21日に開かれ、国の円高・デフレ対応のための緊急総合経済対策に伴う地域活性化交付金の交付があったため、社会基盤等を整備するための一般会計補正予算を、原案どおり可決しました。

議案 審議

一般会計補正予算

質疑

Q 交付金の使途の、基本的な考え方は。

A 地域活性化と社会資本の整備が柱ですが、道路維持補修等の社会資本の整備を中心に、知の地域づくりのための図書費等の購入予算を計上しました。

Q 松川字荷市場地内の地デジ中継施設工事負担金があるが、これ以外のところはなかったのか。

A 新たな難視聴対策として大久田・上山を中心に進めています。まだ事業化が見込めないためにとまり次第進めます。

Q 観光案内板の作成が予算計上されているが、具体的内容は。

A 越代のサクラや古殿八幡神社の場所に、祭り等で大勢が集まる言うことで、案内板を設置するものです。また、鎌倉岳や大風溪谷等にある案内板の更新するための予算です。



古くなった観光案内板を更新

Q 大変な金額での補正予算だが、年度内消化と捉えて良いのか。

A 光を当てる交付金（図書費等）は基本的に年度内に、きめ細かな交付金（社会資本の整備）についてはほぼ繰越になると捉えています。

Q 図書館に購入する図書の選定は、住民の要望等に基づいたものなのか。

A 要望のものがなく、図書館としての蔵書数が少ないことから、今回は文学書を主体として、著名な作家の文学全集の購入を考えています。

予算の補正状況

会計区分	今回補正した金額	補正後の予算総額
一般会計	1億2,415万円	40億5,863万円

歳入予算→国補助金8,543万円、繰入金（基金）3,872万円

歳出予算→総務費（地デジ化工事等）1,810万円、民生費（保育所改修）220万円、農林水産業費（用排水路補修）500万円、商工費（観光案内板作成）300万円、土木費（道路維持補修）8,500万円、教育費（図書購入）1,085万円



追跡レポート

その後 どうなった？

テーマ

増発する鳥獣被害にどう取り組むか？

Q 平成21年9月一般質問から

有害鳥獣被害対策として、協議会の設置と助言、指導、支援等にどのような考えか。

A 町 長

町有害鳥獣捕獲隊で銃器等により捕獲が実施されています。また、自衛手段として防護柵やネット柵等の設置のお願いをしています。今後、近隣町村との連携を含めて取組を模索してまいります。

その後の
対応

- ・古殿町有害鳥獣被害対策協議会設立
- ・有害鳥獣捕獲の担い手育成
- ・わな猟免許取得を推進
- ・電気柵による被害防止対策
- ・電気柵資材購入に7割助成

今後の計画

有害鳥獣を減らしていくために、“くくりわな”については、わな猟免許取得者が個人で捕獲許可を受けた場合でも、わなの貸出しを行う。



電気柵

実際に導入した農家の声

電気柵の対策により、イノシシ被害が少なくなり、防止効果は高い。

みんなのページ

今回紹介するのは **三株牧野組合** の皆さんです。

☆牧野組合発足の経過は。

三株山一帯は藩政時代から放牧地に使用されていた歴史があり、昭和25年には町内に12の放牧地と16の採草場がありました。中でも下松川区の三株牧野放牧地は広大に整備されました。

☆組織と事業計画は。

組合員数は101人で、組合長は矢吹孝夫さんです。年間を通じて、草地と山林の維持管理を主に行い、5～6月にわらび園の開園、毎年5月の最終日曜日には三株高原まつり、やぶさめ春の陣が盛大に開催され、多くの人で賑わいます。



三株牧野組合役員

☆わらびを増やすのに、大変苦労していると聞きますが。

自然のものですから、確かに容易ではありません。わらびの根を20センチ位に切って増やしたり、閉園後直ぐに下刈りをしたり、肥料を振ったりして生育を促進しています。また、研修等で学んだことは実践し、研究を続けています。



わらび園の開園は大勢の人で賑わう



毎年火入れを行い牧野の管理

☆三株高原まつりは何回目ですか。

昨年、第16回となる三株高原まつりを開催しました。毎年、組合の総力を結集して開催する一大イベントです。沢山のお客さんにおいて頂き、阿武隈高原の雄大な自然と多彩なイベントを満喫しながら楽しんで帰られます。

“町政を知るよい機会”
議会を傍聴してみませんか

次回の
定例会

6 月上旬